

令和2年3月31日

小平市教育委員会教育長 殿

小平市立鈴木小学校給食運営委員会  
委員長 井口 修

令和元年度 小平市立鈴木小学校給食運営委員会（第1回）について

このことについて下記の通り報告します。

記

日時 : 令和元年7月10日(水) 午後0時15分から午後1時まで

会場 : 鈴木小学校 グリーンルーム

出席者 : 10名

傍聴者 : 0名

会議の概要

1 運営委員長挨拶

2 委員紹介

3 会食

4 協議

(学務課長) 小学校10校が調理業務委託をしており、本会議は委託校で開催している。保護者、学校職員、委託事業者、市教委が一同に会し、よい給食を提供することを目的としている。そのために、ご意見をいただきたい。年2回の開催である。試食を通して味の確認、調理の工夫など見ていただき、感想や質問を頂ければと思う。家庭での様子などもお聞かせいただき、よりよいものにしていきたい。

(栄養士) “おいしいな通信”を通して児童とのやりとりを行っている。残菜があった時には、子どもたちに様子を聞き、分量の調整に活かしている。個人に見合った食べる量を知り、食べきれぬ給食指導を行っている。苦手な給食にもチャレンジしてもらいたいと思っている。

給食試食会では、給食についてご理解いただき、好評だった。小平市では全市で低温殺菌牛乳を使用している。地場野菜も積極的に使用するようになっている。他校の栄養士と情報交換や給食献立の試作会を行い、新献立も取り入れ

るようにしている。

(保護者) 子どもは給食を楽しみにしている。他県から転入してきたが、鈴木小はメニューも豊富でとても喜んでいる。

(保護者) なすが苦手だが、今日のように調理されていると食べやすい。工夫されて配慮がありがたい。ごはんも精白米でなくとても良いと思った。

(受託業者) 子どもたちが食を通して、いろいろな学びのきっかけとなるようお手伝いをしていきたいと思っている。安全対策を徹底して給食提供をしていきたい。

(調理責任者) 栄養士さんと協力して、美味しいものを提供していきたい。

## 5 質疑

Q：アレルギーの対応はどのようになっているのか。

A：家庭と打ち合わせを綿密に行い、市で統一して除去食を提供することとしている。

Q：子どもたちからのリクエストにはどのように対応しているのか。

A：なるべく献立に取り入れるようにしている。

以上